2016 春季生活闘争「政策・制度実現の取り組み」について

「2016 年度 政策・制度 実現の取り組み」と「2016 春季生活闘争における労働条件改善の取り組み」を「運動の両輪」として、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた運動を強力に進める。

具体的には、「企業内の労働条件改善」と「政策・制度要求の実現」を同時に進めることによりすべての働く者の「総合生活改善」をめざし、①経済の好循環の実現に向けた環境整備、②「労使の取り組み」と「政府・地方自治体の施策」の連動・相乗効果の発揮、③「労使の取り組み」強化による法改正・制度充実の観点から、以下の政策・制度要求の実現に取り組む。

あわせて、労使協議を通じてコーポレートガバナンスの強化や企業年金における責 任投資の導入に向けた取り組みを進めていく。

1. 経済の好循環に向けた中小企業・地場産業への支援強化

- ○健全な経済の発展に向けた公正な企業間取引の確立
- ○公契約の適正化に向けた公契約基本法・公契約条例の制定の促進

2. 雇用の安定と公正労働条件の確保

- ○派遣労働者の保護を後退させないための改正労働者派遣法の点検と検証
- ○長時間労働の是正と過労死ゼロに向けた労働時間規制の強化
- ○障がい者の雇用促進と就労定着に向けた取り組みの推進
- ○労働者の健康・安全を守るための改正労働安全衛生法の実効性の確保
- ○有期雇用労働者特別措置法における対象労働者の雇用安定の取り組みの推進
- ○良質な就業と職場定着に向けた若者雇用対策の推進
- ○すべての女性が活躍できる職場環境の整備

3. 社会保障と税の一体改革の推進によるセーフティネットの拡充

- ○短時間労働者に対する社会保険の適用拡大の取り組みの推進
- ○企業年金制度を整備するための取り組みの推進
- ○事業所内保育の整備など子ども・子育て支援新制度の着実な実施
- ○税による所得再分配機能の強化

4. 子どもの貧困と教育格差の解消

- ○教育の機会均等実現に向けた教育の原則無償化
- ○高等教育における給付型奨学金制度の拡充